

令和3年度行政評価 施策評価シート (令和2年度実績)

施策名 快適で住みやすいまちづくり

施策コード 5060101

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 道路公園課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 快適で住みやすいまちづくり (快適・憩い・生活基盤)	節 第1節 道路・交通
	施策	快適で住みやすいまちづくり	
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や路線バス等の公共交通事業者やコミュニティバスが商業施設と連携して、利用者ニーズに応じた交通ネットワークの充実を図ります。 ・誰もが利用しやすい交通環境づくりをめざします。 			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会の到来や訪日外国人旅行者の増加により、誰でも手軽に利用でき、かつ利便性の高い交通手段が求められています。 ・人にも地球環境にも優しい公共交通の重要性が見直されています。 			
施策目標			
対象(誰を、何を、どこを)			
市民			
意図(どのような状態にしたいのか)			
鉄道とバスの連携強化により、利便性の確保を図り、市民・利用者にとって、身近で使いやすい交通手段としてしていきます。			

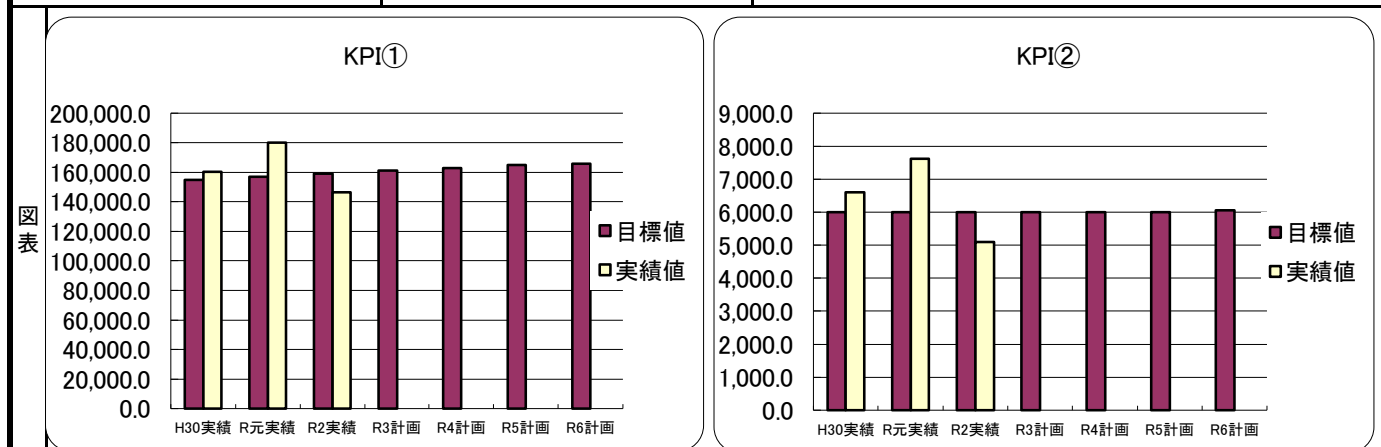
3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	45.1						
重要度(偏差値)	53.6						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R元決算	R2決算					
コストの内訳	人件費	千円	1,010	6,623				
	事業費		56,570	58,708				
	フルコスト		57,580	65,331				
財源の内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		57,580	65,331				
一般財源2(=直接事業費-特定財源)		56,570	58,708					

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1 コミュニティバスの利用者数(延べ数)							
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	155,000.0	157,000.0	159,000.0	161,000.0	163,000.0	165,000.0	166,000.0
実績値	160,494.0	180,147.0	146,430.0				
達成度	103.54	114.74	92.09				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
この人数が増えているかを把握することで、地域住民のニーズに合致した事業展開ができていくかわかる。		令和10年度目標は、高齢化の進捗を背景に、運賃無料化により乗客数が増えた実績を踏まえて、170,000人とした。			高齢化の進捗とともに、平成27年10月、運賃無料化開始、及び、令和元年5月、西回り(田尻回り)新設。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、利用者が減少した。		

② KPI 2		観光周遊バスの利用者数（延べ数）					
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,060.0
実績値	6,595.0	7,627.0	5,089.0				
達成度	109.92	127.12	84.82				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
平成27年12月より運行開始した観光周遊バスの年間利用者数を把握することにより、市内観光スポットを訪れる観光客や市内周遊する市民の交通手段の利便性向上に同バス事業が寄与したかを測ることができる。	令和10年度の目標は、利用促進を図りつつも、人口減少・少子高齢化を背景に、日祝のみの運行便数等を鑑み、年間利用者の実績から5%程度増の6,300人に設定した。	運行開始から4年経過により、日・祝日運行の観光周遊バスの運行やルート等について徐々に認知され、利用者増加が見られていたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、利用者が減少した。



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	平成24年度「泉佐野駅西口前」バス停新設。27年度コミバス運賃の無料化。28年度路線バス運賃助成対象を65歳以上に引き下げ。29年度路線バス運賃助成対象地域拡大、及び「葵町南」バス停新設。令和元年5月田尻回りルートの新設。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	満足度が平成24年度41.8から平成30年度45.1と上昇した。運行地域の拡大、運行時間帯の拡大、双方向での運行等の要望がある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	高齢者等の生活を支える交通手段を確保。高齢者による重大事故の未然防止のため、運転免許返納後の自家用車の代替となる交通手段を提供。
	合計点	(10点中) 7点	
	総合評価	B	市民生活に密着した交通手段として、また交通弱者の交通手段の確保、公共交通機関空白地域の解消を図る観点から、重要な役割を担っている。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き、利用者ニーズに応じた交通手段の提供に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き、利用者ニーズに応じた交通手段の提供に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R2年度決算額			R3年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名		人件費	事業費	一般財源		
1	01009700	コミュニティバス事業	3,896	57,812	57,812	0	B
2	01009710	路線バス運賃助成事業	2,727	896	896	0	B
合計			6,623	58,708	58,708	0	